

## 目 次

### 【国土交通省、富山県（土木部）】

1. 交通安全施設等整備事業の推進(県道) ..... - 1 -
2. 通学路等の安全確保のための予算確保(町道)..... - 2 -
3. 広域連携強化のための道路整備の推進
  - (1)市街地周辺の道路の整備推進 ..... - 3 -
  - (2)観光地へ連絡する道路の整備推進 ..... - 4 -
4. 空き家対策の推進 ..... - 5 -

### 【国土交通省】

5. 安全で安心できる災害に強い国土づくりの推進 ..... - 6 -
6. 常願寺川水系直轄砂防事業の推進 ..... - 7 -

### 【国土交通省、富山県（土木部、経営管理部）】

7. 砂防事業の促進(県事業) ..... - 8 -

### 【国土交通省、富山県（土木部、農林水産部、経営管理部）】

8. 本宮地区から千寿ヶ原地区の斜面防災対策 [新規要望] ..... - 9 -

### 【国土交通省、富山県（土木部）】

9. 地方の道路維持のための予算確保 ..... - 10 -
10. 雪害のない安全・安心のみちづくりの推進 ..... - 11 -
11. 都市公園施設の維持管理のための予算確保 ..... - 12 -

### 【国土交通省】

12. 都市構造再編集中支援事業の促進 ..... - 13 -

### 【国土交通省、富山県（生活環境文化部）】

13. 地籍調査事業の予算確保 ..... - 14 -

### 【国土交通省、富山県（厚生部）】

14. 水道施設整備に係る財政支援 ..... - 15 -

**【国土交通省、富山県（交通政策局）】**

15. 鉄道施設総合安全対策事業費補助の増額 [新規要望] ..... - 16 -  
16. 地域公共交通再構築調査事業 [新規要望] ..... - 17 -

**【環境省、富山県（生活環境文化部）】**

17. 浄化槽設置に関する事業の促進 ..... - 18 -

**【環境省、富山県（観光推進局、生活環境文化部）】**

18. 中部山岳国立公園「立山」の保全と「歩くアルペンルート」の整備・維持管理の支援  
..... - 19 -

**【総務省、富山県（地方創生局）】**

19. 辺地地域における人口減対策に向けた辺地対策事業債の予算確保 ..... - 20 -

**【総務省、林野庁】**

20. 林道事業への財政支援 ..... - 21 -

**【林野庁、富山県（農林水産部）】**

21. 林道災害復旧事業の促進 ..... - 22 -

**【消防庁、富山県（危機管理局）】**

22. 弥陀ヶ原火山の防災対策の推進 ..... - 23 -

**【農林水産省、富山県（農林水産部）】**

23. 県営農業農村整備事業の新規採択 ..... - 24 -  
24. 県営農業農村整備事業の継続促進 ..... - 25 -  
25. 農地・農業用施設災害復旧事業の促進 ..... - 26 -  
26. 中山間地域の振興及び鳥獣被害防止対策の充実と強化 ..... - 28 -

**【文部科学省】**

27. 学校施設危険改築等に係る補助単価の引き上げ ..... - 31 -

**【富山県（土木部）】**

28. 県道富山立山公園線の全線4車線化の早期整備及び県道昇格 ..... - 32 -

**【富山県（土木部、経営管理部）】**

29. 緊急輸送道路沿道における立木伐採の推進..... - 34 -

**【富山県（土木部、観光推進局、生活環境文化部）】**

30. 観光ルート of 安全対策の促進..... - 36 -

**【富山県（生活環境文化部）】**

31. 立山駅周辺 of 環境整備・安全対策と予算確保 [新規要望]

(1) 県営駐車場内 of 樹木剪定や防除、伐採のため of 予算確保..... - 37 -

(2) 富山上滝立山線 of サル対策..... - 38 -

**【富山県（生活環境文化部、農林水産部）】**

32. 悪城 of 壁展望台 of 安全対策及び環境整備..... - 39 -

**【富山県（農林水産部）】**

33. 豚熱まん延防止対策事業(捕獲強化活動費) of 継続..... - 40 -

34. 農業用水路安全対策事業 of 推進..... - 41 -

35. 治山事業 of 促進及び新規施設 of 整備 [新規要望]..... - 42 -

36. 森林研究所樹木園とグリーンパーク吉峰自然公園 of 一体的な整備・連携... - 43 -

**【富山県（厚生部）】**

37. 救急搬送における選定療養費 of 運用 [新規要望]..... - 44 -

**【富山県（教育委員会）】**

38. 雄山高校 of 存続と魅力向上施策 of 推進 [新規要望]..... - 45 -

39. 学習指導員等 of 配置事業 of 見直し [新規要望]..... - 46 -

**【富山県（富山県警察本部）】**

40. 信号機 of 予算確保

(1) 通学路 of 安全確保..... - 47 -

(2) 企業団地 of 車両通行 of 円滑化..... - 48 -

## 1. 交通安全施設等整備事業の推進（県道）

（国土交通省・富山県）

県道立山水橋線の日俣地内は、雄山中学生や雄山高校生の通学路となっていますが、歩道が設置されておらず、歩行者と自動車の接触のおそれが頻繁に生じているため、地区住民から歩道整備の強い要望をいただいています。

また、県道富山立山公園線は、令和6年3月に富立大橋が4車線化して以降、交通量が著しく増加しており、田添地内においては、歩道が設置されていないことに加え、路肩も狭く、**立山町で最も危険な通学路**と認識しています。

つきましては、通学児童・生徒及び沿線住民の安全性向上のため、**歩道整備や路側帯のカラー舗装等の安全施設整備**について、格段のご配慮をお願いします。

1. 県道立山水橋線歩道整備（日俣<sup>ひまた</sup>地内） （継続促進）
2. 県道富山立山公園線歩道整備（田添<sup>たぞえ</sup>地内） （継続促進）
3. 県道岩峯寺大石原水橋線歩道整備（蔵本<sup>くらもとしん</sup>新地内） （継続促進）
4. 県道立山舟橋線路肩拡幅整備（利田<sup>りたひみず</sup>日水地内） （新規要望）



1. 県道立山水橋線（日俣地内）



2. 県道富山立山公園線（田添地内）



3. 県道岩峯寺大石原水橋線（蔵本新地内）



4. 県道立山舟橋線（利田日水地内）

## 2. 通学路等の安全確保のための予算確保（町道）

（国土交通省・富山県）

立山町では、平成26年に「立山町通学路等安全推進会議」を設置し、通学路の危険箇所について、学校関係者や道路管理者、警察等と連携して合同点検を行っています。また、園児の散歩コース等も点検の対象に加えた「通学路等交通安全プログラム」に基づき、歩道整備や路側帯のカラー舗装等の安全対策に取り組んできたところです。

そのような中、未だ安全が確保されていない路線においては、保護者をはじめとする地区住民から安全対策への強い要望をいただいています。

つきましては、児童・生徒等の安全性向上のため、歩道整備や路側帯のカラー舗装等、通学路等の安全対策に必要な予算の総額を継続的に確保し、積極的に充当されるよう要望します。

### （主な箇所）

1. 町道下田東中野新線路肩拡幅整備（<sup>みやじ</sup>宮路地内）（継続促進）
2. 町道野町高原線路肩拡幅整備（<sup>のまち</sup>野町地内）（新規要望）



1. 町道下田東中野新線（宮路地内）



2. 町道野町高原線（野町地内）



横断歩道のカラー舗装による対策例  
（町道利田田添線）



道路管理者、学校関係者、警察等が  
実施する合同点検

### 3. 広域連携強化のための道路整備の推進

#### （1）市街地周辺の道路の整備推進

（国土交通省・富山県）

県道富山立山魚津線は、立山町中心市街地と富山市や立山インターチェンジ等を広域的に連絡する幹線道路であり、生活や物流の重要な道路として、多くの方に利用されています。しかしながら、都市計画道路大窪米沢線内の県道区間である立山町五百石～米沢地内の約350m区間は、朝夕の交通量が多いにもかかわらず、道路幅員が狭いことから、円滑な交通に支障が生じています。また、歩道もないことから、歩行者等の安全な通行が確保されていません。

つきましては、更なる整備促進に必要な予算を積極的に充当されるよう格段のご配慮をお願いします。

#### 1. 都市計画道路 大窪米沢線 拡幅整備（五百石～米沢地内）

（県道富山立山魚津線）

（継続促進）



県道富山立山魚津線（五百石～米沢地内）  
（都市計画道路との重複区間）

都市計画道路大窪米沢線

要望区間

県道富山立山魚津線

五百石駅  
立山町元気交流  
ステーション

立山町  
役場

一 至 富山市

富山県  
立山土木事務所

## （２）観光地へ連絡する道路の整備推進

（国土交通省・富山県）

県道富山立山公園線は、富山市及び北陸自動車道立山インターチェンジと立山黒部アルペンルートを連絡する広域的な幹線道路であり、物流、観光道路として利用されることから大型車両が多く通行しています。更に、令和6年度からはインバウンドの回復に伴い、観光バスの通行量が増加しています。しかしながら、坂井沢、横江、芦峯寺地内において、道路幅員が狭いことから、大型車両同士のすれ違いが困難な状況となっています。

つきましては、次の県道の更なる整備促進に必要な予算を積極的に充当されるよう格段のご配慮をお願いします。

1. 県道富山立山公園線（坂井沢<sup>さかいざわ</sup>地内）（継続促進）
2. 県道富山立山公園線（横江<sup>よこえ</sup>地内）（継続促進）
3. 県道富山立山公園線（芦峯寺<sup>あしくらじ</sup>地内）（継続促進）
4. 県道立山水橋線（下田<sup>みさだ</sup>・宮路<sup>みやじ</sup>地内）（継続促進）



## 4. 空き家対策の推進

（国土交通省・富山県）

人口減少や少子・高齢化の進展に伴い、空き家の増加が問題となっています。平成27年に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行され、町においては、立山町空家等対策協議会を設立、立山町空家等対策計画を策定し、対策に取り組んでいます。

平成30年度から令和6年度までの7年間で、国の空き家対策総合支援事業を活用し、**特定空家等の代執行を8件**実施したほか、**72件の空家等所有者の除却費用に補助金を交付**しています。

近年、空き家の除却や敷地内の除草費用等が高騰しており、空家等所有者の建物除却や適切な管理がより困難なものになっています。町民から空き家に対する苦情、相談が数多く寄せられており、今後も空家等対策事業費の増加が見込まれます。**空き家の実態把握調査や対策計画の策定、代執行の除却費など行政への助成とともに、空家等所有者への除却・利活用助成など、財政支援の更なる充実**をお願いします。

（継続要望）



特定空家の立入調査の様子



行政代執行（令和2年8月）

## 5. 安全で安心できる災害に強い国土づくりの推進

（国土交通省）

日本有数の急流河川である常願寺川では、安政5年（1858年）の飛越地震により、上流域の大鳶山、小鳶山が大崩壊（「鳶崩れ」）し、大土石流が富山平野を襲いました。そして、立山カルデラには今なお約2億m<sup>3</sup>の土砂が堆積し、降雨ごとに大量の土砂が流出し続けています。

また、近年は全国各地で集中豪雨による大規模な自然災害が頻発しており、沿川に多くの重要水防箇所や要注意箇所を抱える立山町としても「常願寺川水系流域治水プロジェクト」の推進が不可欠であります。

つきましては、現在進められている「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」完了後も、継続的に急流河川対策や堤防強化、樹木伐採などの河川の維持管理を実施していくため、十分な予算の確保を要望します。



立山町横江野開地内

## 6. 常願寺川水系直轄砂防事業の推進

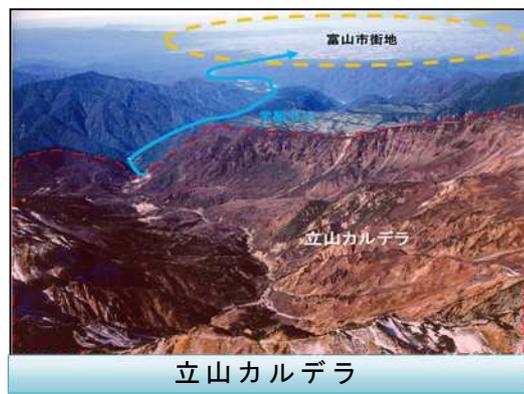
（国土交通省）

立山カルデラ内は、安政5年（1858年）の飛越地震により崩落した鳶山由来の不安定な土砂が今もなお堆積する、日本有数の重荒廃地域です。

直轄砂防事業が開始され、来る令和8年（2026年）には100年の節目を迎えます。現在、砂防施設として初めて重要文化財に指定された白岩砂防堰堤を含む常願寺川砂防施設群をはじめ、砂防施設の整備が着実に進められた結果、下流域の富山平野の治水安全度が向上しています。

つきましては、土砂災害対策事業の更なる推進のため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の確実な目標達成に向け、国土強靱化の取組をさらに進めるため「国土強靱化実施中期計画」に基づき、常願寺川直轄砂防事業を積極的かつ継続的・安定的に推進することを要望します。

（継続促進）



## 7. 砂防事業の促進（県事業）

（国土交通省・富山県）

立山町は、全国でも稀にみる急流荒廃河川の常願寺川と、二級河川白岩川を有しており、流域一帯は毎年甚大な土砂災害の被害を受けています。つきましては、次の事業の促進を要望します。

### 1. 砂防事業

#### 【常願寺川水系】

<sup>ざっこくだに</sup>  
**雑穀谷**（<sup>あしくらじ</sup>芦峯寺地内）（継続促進）

<sup>あずきだに</sup>  
**小豆谷**（<sup>あしくらじ</sup>芦峯寺地内）（継続促進）

#### 【白岩川水系】

<sup>くだらしだに</sup>  
**下嵐谷**（<sup>とちづ</sup>栃津地内）（継続促進）

<sup>なかたにがわ</sup>  
**中谷川**（<sup>たに</sup>谷地内）（継続促進）

### 2. 地すべり防止事業

<sup>あしくらじ</sup>  
**芦峯寺地内**（継続促進）

### 3. 砂防メンテナンス事業

<sup>ざっこくだに</sup>  
**雑穀谷**（<sup>あしくらじ</sup>芦峯寺地内）（継続促進）

<sup>よこえだに</sup>  
**横江谷**（<sup>よこえ</sup>横江地内）（新規要望）

<sup>ちがき</sup>  
**千垣地内**（継続促進）



雑穀谷 12号堰堤被災状況  
（平成16年7月の梅雨前線豪雨）



中谷川被災状況  
（令和5年6月の梅雨前線豪雨）



中谷川復旧状況

## 8. 本宮地区から千寿ヶ原地区の斜面防災対策

（国土交通省・富山県）

一級河川常願寺川左岸河岸段丘に位置する本宮地区～千寿ヶ原地区間には、その急崖部に、緊急輸送道路である主要地方道富山上滝立山線や、立山黒部アルペンルート玄関口である立山駅へ多くの旅行客を輸送する富山地方鉄道立山線が位置しています。

しかし、当該区間の斜面は、非常に急峻で、脆い地層からなり、**雪崩・落石が頻繁に発生**していることや、森林整備の維持管理が困難であることから**倒木が頻繁に発生**しており、たびたび通行が妨げられています。

また、当該区間には、土石流や地すべりに関する土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域が広い範囲で指定されており、昨今、激甚化・頻発化する自然災害がひとたび発生した場合、地域住民はもとより、観光客の安全が脅かされることとなります。

つきましては、地域住民や立山黒部アルペンルート、立山山麓リゾートなどへ訪れる観光客や登山者等が安全安心かつ安定的に移動できるよう、**本宮地区～千寿ヶ原地区間の急崖部の斜面对策の推進、安全確保のための森林整備の推進**に格段のご配慮をお願いします。

（新規要望）



## 9. 地方の道路維持のための予算確保

（国土交通省・富山県）

立山町には、昭和34年から昭和60年頃に建設された橋や、**地元集落等で設置**した道路橋を町道路線として認定したため、**設置年度すらわからない橋**が多くあります。

当町では、国の財政支援を受けて、急速に進展する橋の老朽化に対応するため、定期点検と個別施設計画に基づく予防保全型の修繕を進めております。令和7年3月までに**長寿命化工事が完了した29橋**においては、町民が安心して道路を通行できるようになりましたが、未だ長寿命化対策の必要な橋は多く残されています。

つきましては、今後も着実に橋の長寿命化対策を進めるため「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、積極的に充当されるよう要望します。**また、2025年度の対策期間終了後においても、国土強靱化の取組を継続的・安定的に進めるために、令和7年6月に策定された第1次国土強靱化実施中期計画に基づき、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保して取り組むことを**要望します。

（継続促進）

- （主な箇所） 1. 町道泊新沢中山線  
2. 町道大山上市線

- （雷鳥大橋）  
（無名橋15）

橋梁長寿命化 町道橋318橋

【点検状況】

レベルI(健全)	142橋
レベルII	130橋
レベルIII	45橋
レベルIV	1橋

対策完了済み：29橋

[令和7年3月末現在]



1. 町道泊新沢中山線  
（雷鳥大橋）平成13年架設  
橋長278.6m、幅員10m



床版の漏水（雷鳥大橋）



2. 町道大山上市線  
（無名橋15）架設年次不明  
橋長3.8m、幅員11m



床版の鉄筋露出（無名橋15）

## 10. 雪害のない安全・安心のみちづくりの推進

（国土交通省・富山県）

近年、地域の除雪事業を担う建設業者の除雪オペレーターの高齢化や担い手不足が進行していることに加え、気候変動の影響により、短時間で局所的に大量の雪が降る現象が頻発しています。

このような中、安定した除雪体制を維持するためには、除雪作業を支える担い手の確保が重要です。

当町では、令和2年4月に除雪オペレーター育成補助金を創設し、除雪事業者の大型特殊自動車免許等の取得に対する経費の一部を補助しているほか、県の補助事業を活用し、除雪オペレーターを養成する講習会を毎年開催しています。

つきましては、各道路管理者間の情報共有及び道路利用者への情報提供を充実させるとともに、道路除排雪に要する経費への十分な財政支援や持続可能な除雪体制を確保していくため、除雪機械購入・消雪設備の更新等の整備に必要な予算を積極的に充当されるよう要望します。

（継続促進）

立山町道路除雪延長：349km      消雪施設延長：19km  
 （雪寒路線延長：206km）



道路除雪状況（日中）



道路除雪状況（夜間）



公園駐車場を排雪場所として確保



道路排雪状況（タンポトラック）

## 11. 都市公園施設の維持管理のための予算確保

（国土交通省・富山県）

立山町の都市公園の多くは昭和58年から平成9年頃にかけて設置しており、近年は施設の老朽化が進行し、多くの施設が更新時期を迎えることから、維持管理費の増大が懸念されています。

当町では、「立山町公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的な長寿命化対策に取り組んでおり、これまで、国の財政支援により立山町総合公園の四阿や多目的グラウンドの改修が完了し、多くの利用者に大変喜ばれています。

しかしながら、野球場やトイレ、照明灯など老朽箇所が数多く残っているため、引き続き**老朽化する都市公園施設の適切な維持管理及び長寿命化対策**などに必要な予算確保に、格段のご配慮をお願いします。

（継続促進）

令和2年度策定 立山町公園施設長寿命化計画 対象公園：91箇所  
**（主な箇所）立山町総合公園 野球場・トイレ・照明灯等**



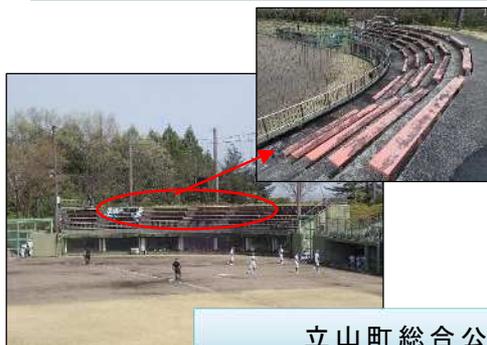
令和4年度に改修した多目的グラウンド



令和5年度に改修した四阿



令和6年度に改修した多目的グラウンド観覧席



立山町総合公園（野球場・トイレ・照明灯等）  
 ベンチの腐食、トイレ流水不良や照明灯支柱などに劣化や破損がみられる

## 12. 都市構造再編集中支援事業の促進

（国土交通省）

町中心部の五百石地区は、富山地方鉄道立山線「五百石駅」を中心に、商店街が形成されるとともに、町役場や県立高校といった行政や教育の中心となっています。また、平成24年度には、都市再生整備計画事業により五百石駅と町保健センターや図書館を一体化した「町元気交流ステーション（愛称：みらいぶ）」を整備しました。さらに、令和6年度には「防災」と「子育て」を集約した「立山町防災児童館複合施設（愛称：アカリエ）」が完成し、都市の利便性が向上しています。

しかしながら、高齢化に伴い中心市街地としての活力が弱まり、空き店舗や空き家が増加している状況です。

つきましては、**立山町立地適正化計画に基づき、都市の機能性や居住環境の向上**を目指すため、引き続き、予算確保について格段のご配慮をお願いします。

### 都市構造再編集中支援事業 五百石駅周辺地区

（継続促進）



R7.1.10 庁舎西側に完成した  
立山町防災児童館複合施設



R6.4.26 庁舎前にオープンした  
県内初書店併設型  
「LAWSON まちの本屋さん」



五百石駅周辺地区

### 13. 地籍調査事業の予算確保

（国土交通省・富山県）

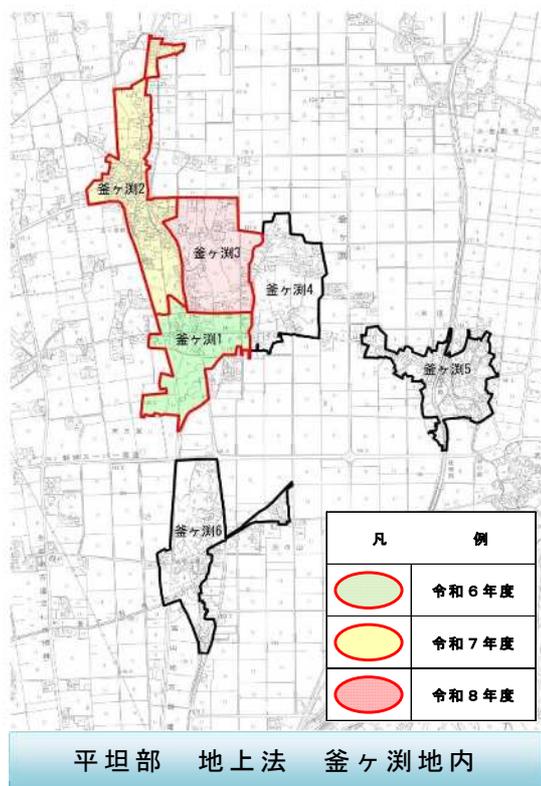
立山町では、国土調査事業十箇年計画を推進するため、地籍調査事業を平成23年度から町中心部で、平成26年度から山村部でそれぞれ実施しています。

しかしながら、町内の平坦部や山村部の大部分が、いまだ地租改正時に作成された公図を利用しており、境界が不明確な状況です。

<sup>かまがふち</sup>**釜ヶ淵地区**では、境界が未確定であるため、不動産取引が難しく、高齢化も相まって空家等の増加につながっています。こうした空家等が相続放棄によって所有者不明となり、特定空家等となり果て、公費で解体せざるを得ない事態に陥っています。

つきましては、平坦部の釜ヶ淵地区について、地籍調査の予算の確保及び充当について、格段のご配慮をお願いします。

（継続促進）



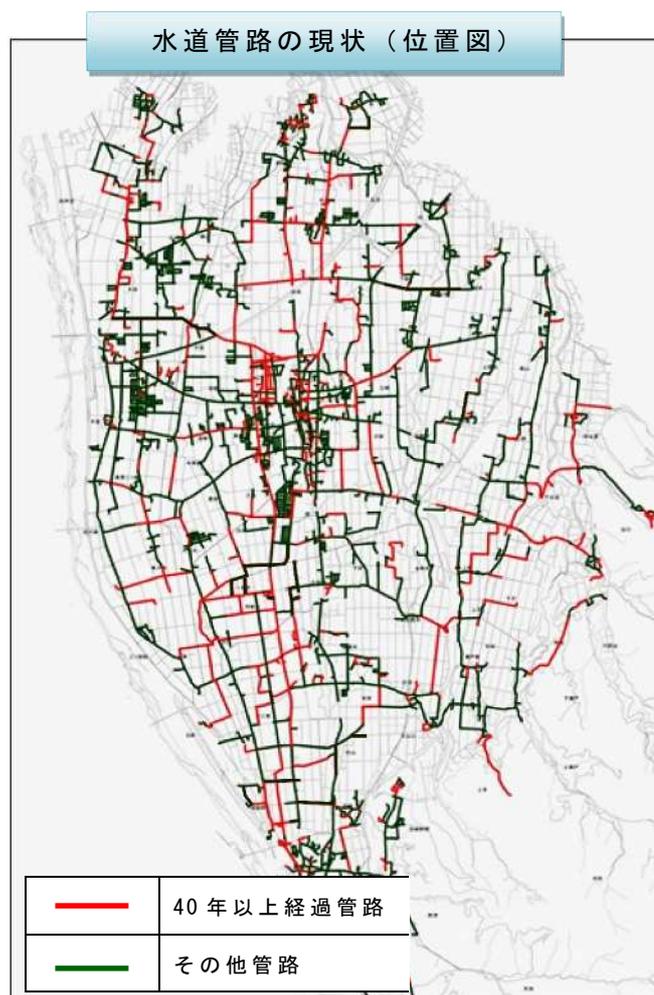
## 14. 水道施設整備に係る財政支援

（国土交通省・富山県）

立山町全体の水道管路総延長は約 300 kmあり、このうち**約 80 km（約 26%）**は法定耐用年数 **40 年を超える**水道管（老朽管）で、今後、更にその割合は増えていく見込みです。老朽管は大地震等の災害に耐えきれず破損することがあるため、災害発生時でも安全・安心に水道水を供給できるよう、耐震管への更新を行う必要があります。

このため、町では、令和元年度に「老朽管緊急更新整備計画（令和 10 年度までの 10 か年）」を策定し、**水道料金を値上げした**うえで老朽管更新を進めています。しかしながら、工事費にかかる**労務単価の上昇や資材価格の高騰**により計画どおりに進んでいないのが現状です。

つきましては、老朽管更新に対する**水道施設整備費補助金に係る財政支援**に格段のご配慮をお願いします。（継続促進）



【管路更新延長】

年 度	延長 (m)	事業費 (百万円)
令和 7 年度	600	127
令和 6 年度	699	174
令和 5 年度	1,152	197
令和 4 年度	1,509	180
令和 3 年度	1,535	158
令和 2 年度	1,269	172
令和元年度	719	65
合 計	7,483	1,073



## 15. 鉄道施設総合安全対策事業費補助の増額

（国土交通省・富山県）

富山地方鉄道立山線は、立山町の最も重要な公共交通であり、また、北陸新幹線から乗り継いで立山黒部アルペンルート玄関口の立山駅まで、多くの旅行客を一気に輸送できる重要な観光ルートとなっています。

現在、富山地方鉄道株式会社は、鉄道施設総合安全対策事業費補助（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業）を活用し、国庫補助を除いた対象事業費の全てに対して富山県及び沿線7自治体から補助を受け、枕木やレールを更新し、運行の安全と快適性の確保に努めています。

人口減少をはじめとする社会の変化や、資材・燃料費高騰の影響で、その経営は極めて厳しくなっていますが、こうした負の影響が、コロナ禍からやっと上向きに転じてきた客足を鈍らせることのないよう、安全性を高めるとともに、**運休のない安定した運行を維持**し、利用者の利便性を向上していくことが不可欠です。

立山町は、富山地方鉄道立山線における **PC 枕木への交換や 50kgN レールへの更新等を加速**し、町民や旅行客にとって安全で揺れの少ない快適な電車を実現、維持したいと考えています。

つきましては、次の事業費補助増額について格段のご配慮をお願いします。

（新規要望）

鉄道施設総合安全対策事業費補助のうち

### 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業



令和6年元日地震による落石  
R7.4.18 町長視察



落石発生危険箇所  
R7.4.18 町長視察

## 16. 地域公共交通再構築調査事業

（国土交通省・富山県）

富山地方鉄道は、富山県東部の7市町村を沿線にもつ延長93.2kmの鉄道であり、本線、不二越・上滝線、立山線の3線区で構成されています。なかでも**立山線は、背骨**のように立山町を貫いて走っており、**雄山高校生、雄山中学生等の通学や、通勤の生活路線等として必要不可欠の路線**となっています。また、立山線は、北陸新幹線停車駅の富山駅から日本有数の山岳観光地 立山黒部アルペンルートまでを乗り換えなしでつなぐ最重要の観光客輸送ルートでもあります。

しかし、人口減少、コロナ禍といった社会の著しい変化で富山地方鉄道株式会社の経営は極めて厳しい状況であるため、令和6年11月28日に富山県知事及び沿線7市町村長をメンバーとしたあり方検討会が設置され、行政の投資を念頭に存続に向けた検討が進められているところです。

立山町としては、富山県、沿線自治体と協調して検討を進めながら、特に立山線については、立山町民の大切な生活の足であり、駅はまちづくりの起点ともなることから、その維持と利便性向上のために立山線再構築にむけた準備を進めたいと考えています。

つきましては、地域公共交通再構築事業の活用を視野に入れた、次の事業を立山町において活用いたしたく格段のご配慮をお願いします。

（新規要望）

地域公共交通確保維持改善事業補助金のうち

### 地域公共交通再構築調査事業



ふくもりにふれてみるハル 2025  
多手山プロジェクト  
(H24 から開催 22 回目)

地鉄立山線をご利用の観光客を  
手を振ってお出迎え  
R7.4.15~18 開催  
(4/15 立山黒部アルペンルート開通)  
のべ1,102名の町民等が参加  
写真は下段保育所のこどもたち

## 17. 浄化槽設置に関する事業の促進

（環境省・富山県）

立山町の汚水処理整備は、主に下水道による整備を進めてきました。しかしながら、令和7年3月末現在、下水道未整備区域において未だ266世帯が汚水処理施設を利用できません。

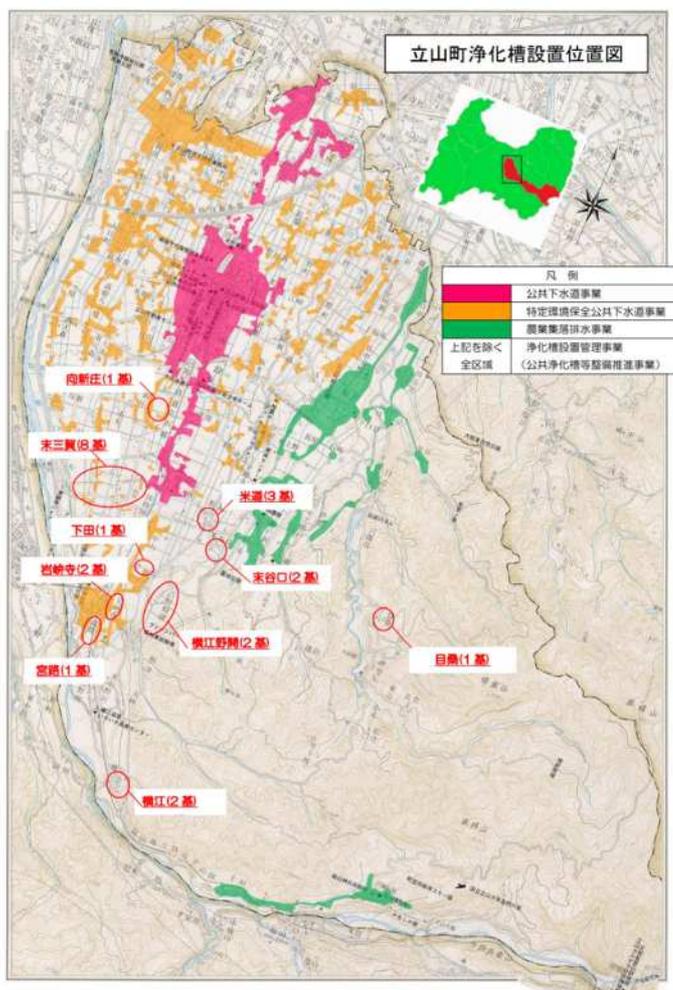
このため、下水道未整備区域を浄化槽整備区域とし、平成30年度からは循環型社会形成推進交付金事業における**浄化槽市町村整備推進事業に取り組み、合併処理浄化槽に転換**することで汚水処理の環境改善をしたいと考えています。

なお、**実際の浄化槽整備費は補助基準額を大幅に上回っている**ため、事業を進めれば進めるほど町の財政負担が増加しています。

つきましては、**補助基準額の見直し及び予算確保**について、格段のご配慮をお願いします。

### 浄化槽設置に関する事業（循環型社会形成推進交付金）

（継続促進）



施工年度	設置基数
令和7年度	予定6基
令和6年度	5基
令和5年度	1基
令和4年度	2基
令和3年度	5基
令和2年度	11基
令和元年度	2基

実績（令和6年度1基分）（円）

補助基準額	合併浄化槽整備費
1,188,000	1,950,000



## 18. 中部山岳国立公園「立山」の保全と

### 「歩くアルペンルート」の整備・維持管理の支援

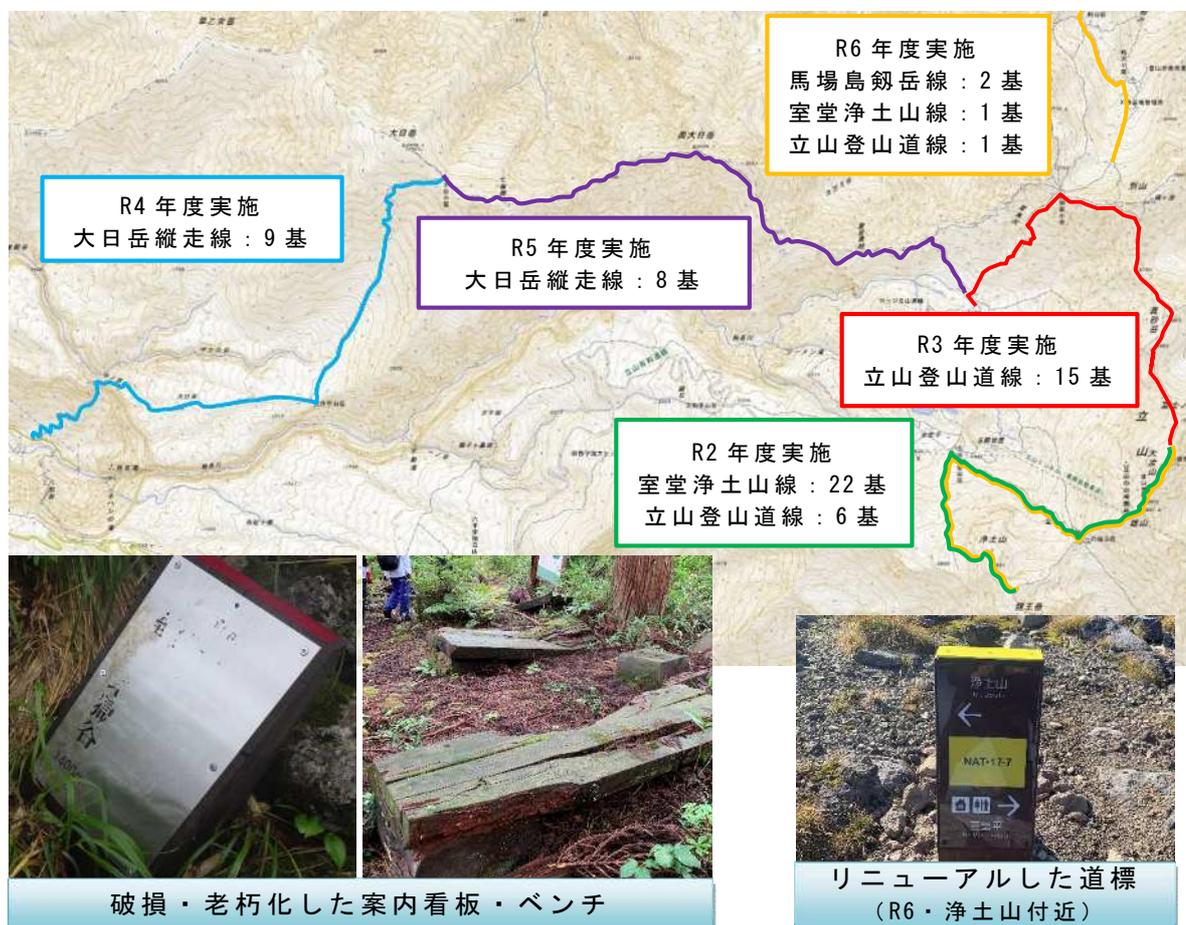
（環境省・富山県）

立山黒部アルペンルートの令和6年度の入込客は、訪日外国人観光客が22万4千人（対前年比：125%）と大きく伸び、全体で82万人（対前年比：116%）となりました。

平成11年に旧立山登拝道を修復整備した「歩くアルペンルート」は、材木坂や八郎坂、ラムサール条約登録湿地弥陀ヶ原歩道など、魅力的なコースが多く、個人旅行客の周遊先やトレイルランニングコースとしても活用されています。

しかし、かつて国や県が整備した道標やベンチなどが老朽化しており、安全確保の面からも早急に再整備する必要があります。立山町では令和2年度からふるさと納税や自然環境整備交付金を活用し、道標等の再整備を進めていますが、引き続き、予算確保について、格段のご配慮をお願いします。

（継続促進）



## 19. 辺地地域における人口減対策に向けた

### 辺地対策事業債の予算確保

（総務省・富山県）

立山町の辺地地域においては、空き家・耕作放棄地の増加や森林荒廃に伴う有害鳥獣被害の多発、さらに生活を支える基盤道路の老朽化、産業の衰退など、生活環境の悪化が危惧されており、その対策には、多額の財政負担が伴います。

つきましては、**辺地住民の生活基盤となる道路や橋梁の長寿命化をはじめとした、安心して住み続けることができる生活環境の向上、辺地地域の産業の振興に向けた、観光・レクリエーション施設の魅力向上など、公共的施設の総合的かつ計画的な整備を促進するため、辺地対策事業債の予算確保**に格段のご配慮をお願いします。

（継続要望）



辺地地域を運行するEVバス



新たに整備したコテージ

	地方債計画額			立山町の辺地債 発行実績額
	過疎債	辺地債	合計	
R7	5,900	590	6,490	(同意額) 1.67 2.27 0.91
R6	5,700	570	6,270	
R5	5,400	540	5,940	
R4	5,200	530	5,730	

地方債計画における計画額の推移と立山町の辺地対策事業債発行実績（億円）

## 20. 林道事業への財政支援

（総務省・林野庁）

林道事業は、広域的な林道網の幹線として、地域林業の振興はもとより山村地域の生活環境の整備に大きく寄与しています。

一方、林道延長の延伸と比例して林道に係る維持管理費も大きく増加していることから、町の財政負担も大きくなっていますが、地方交付税においては、林道関係経費の算定が十分ではありません。

つきましては、林道が持つ目的の達成と森林整備の継続的促進のため、**地方交付税における基準財政需要額に林道延長を測定単位とする「森林・林業行政費」を新設**していただきたく、格段のご配慮をお願いします。

（継続要望）

### ■ 立山町管理林道路線 30 路線

路線総延長 L=96.9km（うち清掃委託延長 L=93.1km）

#### 7. 森林・林業・山村に係る地方財政措置の充実

（2）町村における森林・林業行政の充実と、森林整備促進の実効性を高めるため、**地方交付税における基準財政需要額に「林野面積」（国有林野面積を含む）や「林道延長」を考慮した「森林・林業行政費」を新設**すること。

<全国町村会 令和8年度政府予算編成及び施策に関する要望（令和7年7月）より一部抜粋>



側溝清掃



草刈り作業

## 21. 林道災害復旧事業の促進

（林野庁・富山県）

立山町では、令和5年6月28日発生豪雨災害及び7月12日～13日発生豪雨災害により、甚大な災害が発生しました。

県内初となる「大規模災害査定」を活用し、126箇所への国の災害査定を受け、原形復旧に向けて、関係機関と連携しながら、災害復旧に全力を挙げて取り組んでいます。

本豪雨災害は、令和5年8月30日に、激甚災害の指定を受け国庫補助率の増嵩に対して、財政措置等講じていただいたところですが、引き続き林道災害復旧事業の継続促進について、格段のご配慮をお願いします。

また、「大規模災害」であるため、「3年以内の事業完了」は見込めず、極めて困難な状況であるため、引き続き弾力的な協議をお願いします。

（継続促進）



## 22. 弥陀ヶ原火山の防災対策の推進

（消防庁・富山県）

立山黒部アルペンルートにある弥陀ヶ原火山(地獄谷)は、平成28年に「火山災害警戒地域」及び気象庁の常時観測火山に指定され、火山観測機器の整備や火山ガス検知警報システムの運用が開始されました。

平成30年度から消防庁の消防防災施設整備費補助金の対象に民間の山小屋の噴石対策経費が対象とされ、富山県でも同様の制度が創設されたことから、当町ではこれまでに山小屋5施設において、アラミド繊維で山小屋の屋根等を補強する噴石対策に取り組んでいます。

しかしながら、依然、噴火時における噴石の影響が予想されるエリア内に噴石対策未実施の山小屋があることから、弥陀ヶ原火山の防災対策に対して、引き続き技術的・財政的支援を含め、格段の配慮をお願いします。

（継続促進）



アラミド繊維張の屋根（天狗平山荘）



施工状況（天狗平山荘）



活動火山対策避難施設整備事業の取組状況（弥陀ヶ原火山周辺図）

## 23. 県営農業農村整備事業の新規採択

（農林水産省・富山県）

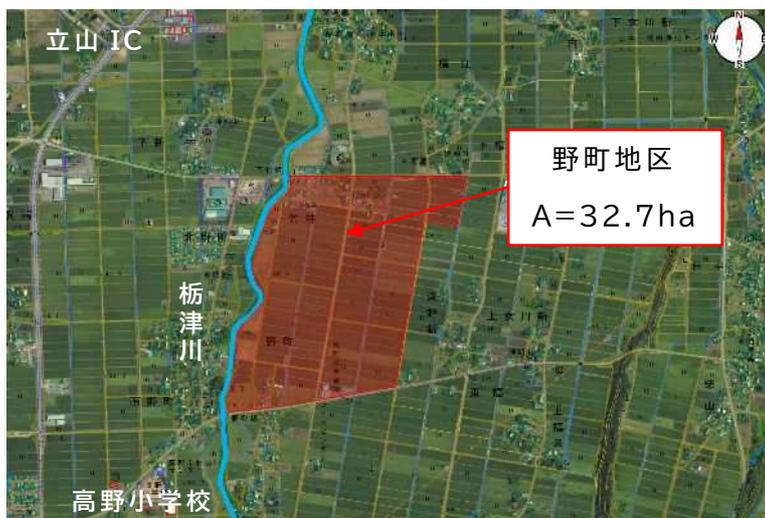
昭和40年から50年代に整備された農地では、用排水路の老朽化による漏水や地域環境の変化による断面不足が生じているため、農地の集約や効率的な営農体系に支障をきたしています。

野町地区は、高齢の個別農家による営農が多いため、現況集積率が低くなっています。この際、本事業を契機に、個別農家から担い手農家への集積・集約を促進し、**水稻のほか高収益作物栽培（白ネギ等）にも取り組む、複合的な営農展開**を推進したいと考えています。

つきましては、農業農村の持続的な発展のため、次の事業の新規採択に格段のご配慮をお願いします。

### 農業競争力強化農地整備事業 <sup>のまち</sup> 野町地区

（継続要望）



**立山** ドジョウやヤゴ 農業用水にいた 高野小生き物調査

立山町高野小学校の3年生11人が5日、同町野町の農業用水で生き物の生息状況を調べた

写真 富山農林振興センターなどが農業用水の役割や田んぼの生態など、身近な自然環境に理解を深めてもらうと企画。地元住民も参加した。

児童は2グループに分か

田んぼはたくさんの役割があるんだね！

どんな生き物がいるかな？

れ、網を手に入れた。ぬかるみに悪戦苦闘しながらも、ドジョウやカエル、ヤゴ、カニなどを捕まえて観察した。農業用水の水の酸性度も調べた。

老朽化した排水路で生き物調査を実施 [令和5年7月] (野町)



## 24. 県営農業農村整備事業の継続促進

（農林水産省・富山県）

農業農村整備事業は、農地や農業水利施設の整備、保全及び農村の振興に重要な事業です。

つきましては、現在、整備中の下記事業について、早期効果発現のため、引き続き促進されるよう格段のご配慮をお願いします。

（継続促進）

### 1. 農地整備事業

たぞえ  
田添地区（R3～）

ひがしなかのしん  
東中野新地区（R6～）

しだにお  
四谷尾地区（R7～）

### 2. 農村地域防災減災事業

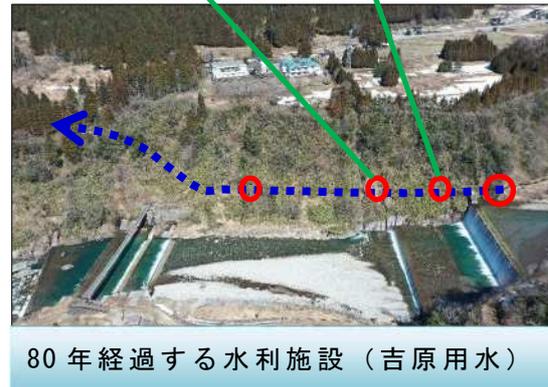
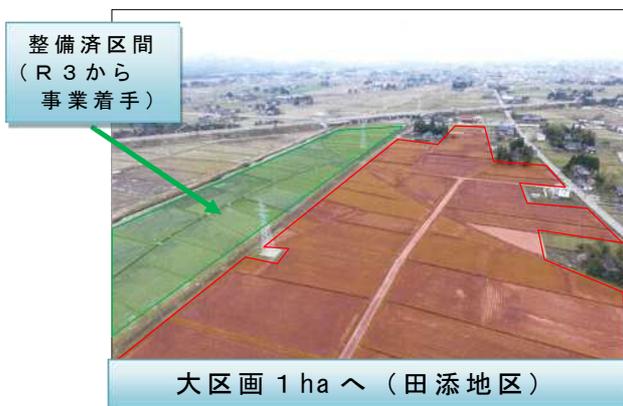
ほうこうじたに  
法光寺谷池（ため池・R4～）

よしわら  
吉原用水（R5～）

### 3. 水利施設等保全高度化事業

じょうがんじがわ  
常願寺川右岸5期地区（幹線用水路・R3～）

よこえ よこえとうしゅこう  
横江（横江頭首工）地区（水利システム・R6～）



## 25. 農地・農業用施設災害復旧事業の促進

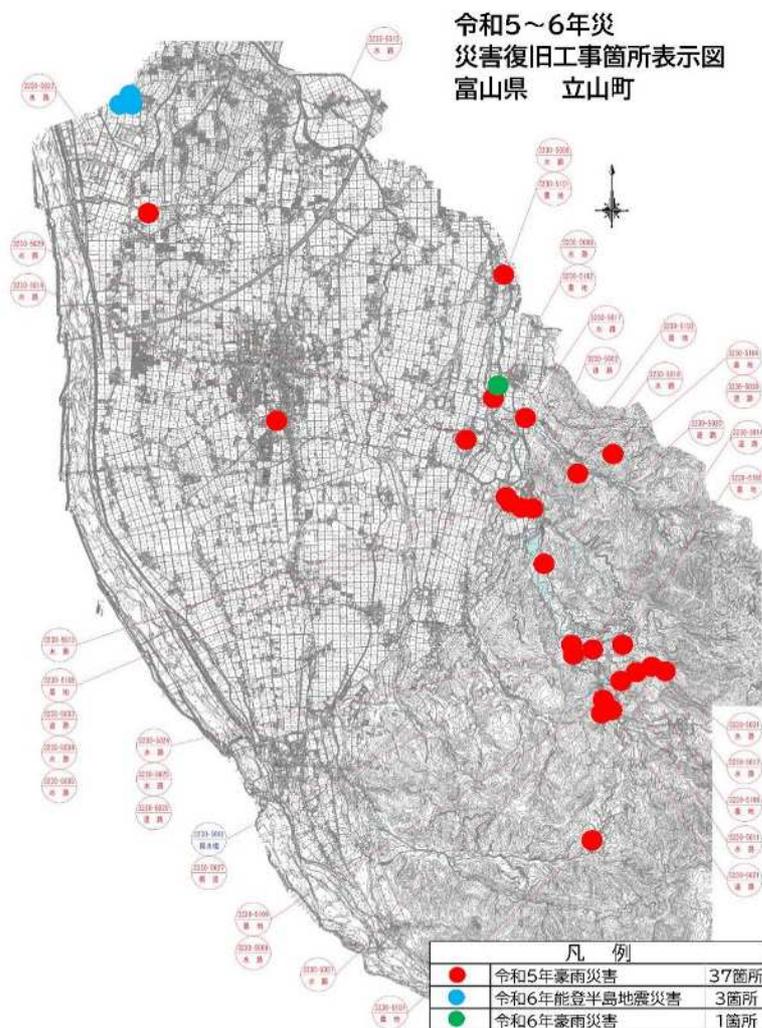
（農林水産省・富山県）

立山町では、**令和5年6月**及び7月に発生した豪雨災害により、農道・水路等の農業用施設の損壊や、農地法面の崩壊、土砂・流木の流入等甚大な被害が発生しました。また、令和6年能登半島地震災害、令和6年7月1日発生豪雨災害においても、**農地の液状化や農道・水路・頭首工の損壊**等の被害があり、本町の営農体制に重大な影響を及ぼしています。

現在、営農者の不安解消と被災箇所の早期復旧に向けて、関係機関と連携しながら、災害復旧に全力を挙げて取り組んでいます。

上記の災害については、いずれも**激甚災害**に指定していただき、国庫補助率の増嵩に対して、財政措置等講じていただいたところですが、農地・農業用施設災害復旧事業の継続促進について、格段のご配慮をお願いします。

（継続促進）



令和6年1月1日発生  
能登半島地震の被災状況  
立山町浅生地内（ほ場の液状化）



令和6年1月1日発生  
能登半島地震の被災状況  
立山町浅生地内（水路、農道破損）



令和6年7月1日発生豪雨の被災状況  
立山町四谷尾地内（頭首工破損）



令和5年6月28日発生豪雨の被災状況  
（立山町日中地内）



谷地内谷用水・二坂用水災害復旧工事  
（施工中）



福田地内排水路災害復旧工事（施工中）



伊勢屋地内農道災害復旧工事（完成）



目桑地内農道災害復旧工事（完成）



座主坊地内農地災害復旧工事（完成）



伊勢屋地内農地災害復旧工事（完成）

## 26. 中山間地域の振興及び鳥獣被害防止対策の充実と強化

（農林水産省・富山県）

中山間地域は、水源かん養・洪水防止などの多面的機能を有し、国民の生命・財産を守る役割を担っていますが、高齢化や人口減少に伴い、多面的機能の発揮に不可欠な農地・水路等の管理が困難な状況です。

このような中で、東谷地域では令和7年度から始まった中山間地域等直接支払交付金の第6期対策においても、引き続き農地の保全活動ならびに棚田地域振興加算による担い手確保・生産性向上・関係人口拡大に取り組むとともに、**中山間地域等直接支払連絡協議会を中心としたネットワーク化やスマート農業機器を活用**することとしています。

加えて、**農村RMOモデル形成支援事業**に継続して取り組み、地域の将来ビジョンの達成に向けて、農地の利活用と新たな特産物栽培のほか、クラフトビールやサツマイモ甘酒の商品化、ICTを活用した生活支援の検討など、持続可能な農村地域づくりを進めることとしています。

また、白岩川流域の農地・農業施設に甚大な被害をもたらした令和5年6月の豪雨災害からの復旧を進めながら、地域住民で将来の農地利用のあり方を考える**最適土地利用総合対策事業**により、新たに山椒など省力作物の実証を通じて、農地の粗放的利用にも取り組んでいます。

そのほか、鳥獣被害防止総合対策交付金により、イノシシ等の侵入防止や捕獲強化を進めつつ、ジビエ利用の拡大も推進しています。

このように、中山間地域の農地保全や地域力向上に大きく寄与しておりますので、次の事項について格段のご配慮をお願いします。

1. 「中山間地域等直接支払交付金」・「農山漁村振興交付金」の予算確保
2. 「鳥獣被害防止総合対策交付金」による鳥獣被害防止の充実・強化

（継続促進）

### 令和7年度 中山間地域等直接支払事業（計画）

集落 協定名	交付金対象面積・加算措置								交付金額 (円)
	総面積 (㎡)	棚田加算 (超急傾斜)	超急傾斜 面積 (田 1/10)	棚田加算 (急傾斜)	急傾斜 面積 (田 1/20)	緩傾斜 面積 (田 1/100)	ネット ワーク 化加算	スマー ト農 業 加算	
		35円/㎡		31円/㎡	21円/㎡	8円/㎡	10円/㎡	5円/㎡	
目桑	141,568				141,568	0	○	○	4,422,336
四谷尾	453,547			○	190,427	263,120	○		9,008,197
白岩	269,194				19,609	249,585	○	○	4,623,633
中蔵	149,711				37,703	112,008	○	○	3,186,093
芦見	127,843	○	28,914	○	98,929	0	○		4,806,632
谷口	115,565			○	17,057	98,508	○		2,032,396
六郎谷	39,239			○	39,239	0	○		1,608,799
虫谷	62,343	○	10,045	○	40,946	11,352	○		2,261,089
谷	33,696			○	11,855	21,841	○		879,193
座主坊	35,849				35,849	0	○	○	1,290,564
合計	1,428,555	2組織	38,959	6組織	633,182	756,414	10組織	4組織	34,118,932



農業用水路の江ざらい



棚田等の地域振興(棚田サイクリング)



ドローンによる農作業



景観作物の植栽

### 立山町の有害鳥獣捕獲実績と農作物被害額の推移

	捕獲頭数（頭）		農作物被害額 （万円）
	イノシシ	ニホンジカ	
令和6年度	164(41)	14(2)	277.5
令和5年度	127(35)	7(2)	155.0
令和4年度	199(31)	14(5)	436.0
令和3年度	127(15)	12(3)	411.2
令和2年度	138	5	493.1
令和元年度	138	0	861.6
平成30年度	43	0	355.9
平成29年度	55	0	497.4

（ ）内は捕獲頭数のうちジビエ利用の頭数



有害鳥獣の捕獲活動



イノシシ侵入防止パネル柵

## 27. 学校施設危険改築等に係る補助単価の引き上げ

（文部科学省）

立山町では、建築から40年以上を経過した学校施設が複数存在しており、建築部材の経年劣化による安全面及び機能面での不具合が深刻な課題となっています。それにより、今後増加が見込まれる危険建物の改築事業等が必要となりますが、**実際の工事に要する経費と国の補助単価に隔たりがある**ことから、町の財政負担の増加が見込まれます。

学校施設は、災害発生時には当該地区の住民だけではない多くの避難者を受け入れる避難施設となる場所でもあり、避難者の安全確保の点からも早期の改修が必要です。

つきましては、より良好な教育環境の実現と防災機能を維持できるよう、**学校施設環境改善交付金の所要額の確保**、屋内運動場改修、空調設備整備に係る財政支援及び、**実情に合った補助単価の引き上げ**について、格段のご配慮をお願いします。

（継続促進）

### 【（令和7年度）学校施設環境改善交付金】

危険改築	補助単価	329,600円/m <sup>2</sup>	※1
実工事費	単価	655,875円/m <sup>2</sup>	※2

※1 令和7年度建築単価（306,600円/m<sup>2</sup>、屋体、鉄骨造）を基に算定

※2 実際に掛かる工事単価

### 【釜ヶ淵小学校屋内運動場 危険改築事業 想定事業費】

総事業費	524,700千円
交付金	167,140千円（補助率5.5/10）
改築面積	800m <sup>2</sup>

【交付金（危険改築）活用の場合】 国負担：240,940千円（46%）

町負担：283,760千円（54%）

総事業費：524,700千円					
学校教育施設等整備事業債 （充当率90%、交付税措置率60%）			学校教育施設等整備事業債（継ぎ足し単独） （充当率75%、交付税措置なし）		
補助対象事業費：303,891千円			対象外事業費：220,809千円（継ぎ足し単独）		
167,140	123,000		13,751	165,600	55,209
	73,800	49,200			
交付金	地方債		一般財源	地方債	
	交付税措置	地方負担		地方負担	
最終国負担 79.3%		最終地方負担 20.7%		最終地方負担 100%	

## 28. 県道富山立山公園線の全線4車線化の早期整備 及び県道昇格

（富山県）

令和6年3月に常願寺川に架かる富立大橋の4車線化整備が完了し、上下流に架かる橋の渋滞が緩和されました。しかしながら、この幹線道路沿線付近では、**商業施設の進出や企業立地が今後も進むことから、より円滑な幹線道路ネットワークを形成するために1日も早い全線4車線化が必要**です。

また、本路線は富山市中心部と立山インターチェンジを結ぶ緊急輸送道路として、一体的な管理が必要です。

つきましては、横沢交差点から二ツ塚交差点までの**全線4車線化の早期整備**及び**立山インターチェンジに接道する県道富山立山魚津線までの区間の県道昇格**について、格段のご配慮をお願いします。

（継続促進）

- |         |              |   |              |                           |
|---------|--------------|---|--------------|---------------------------|
| 1. 整備促進 | りた<br>利田     | ～ | ふたつづか<br>二ツ塚 | 延長L = 1.8 km              |
| 2. 県道昇格 | ふたつづか<br>二ツ塚 | ～ | つじ<br>辻      | 延長L = 1.7 km<br>(町道二ツ塚辻線) |

### 【朝の通勤時間帯の混雑状況】



1. 横沢交差点  
富山市から立山町方面の状況



2. 二ツ塚交差点  
富山市から立山町方面の状況



## 29. 緊急輸送道路沿道における立木伐採の推進

（富山県）

県道富山立山公園線は、緊急輸送道路として指定されており、災害発生時においては、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、**緊急車両の通行を確保すべき重要な路線**とされています。

しかし、一部区間においては、沿道の立木が道路を覆いかぶさるように林立しており、冬期間は枝からの落雪が通行車両を直撃する事故が発生するなど危険な状態となっています。

また、地震や台風、豪雪などの自然災害を要因とした倒木により、道路の寸断が予想され、枯損木化の進行とともに、孤立集落や電線遮断による停電の発生も今後ますます危惧されます。

つきましては、このような災害発生時における住民等の二次被害を未然に防ぐべく、当該県管理道路の防災対策に資する予算を積極的に充ちいただき、主体的な立木伐採に取り組まれますよう、格段のご配慮をお願いします。

（継続促進）



■ 孤立集落対策としての沿道林事前伐採事業について（参考）

道路や電線などのライフライン周辺の整備一環として、孤立集落発生の要因となる道路の通行止めを引き起こすおそれのある立木や電線・電柱に支障を及ぼすおそれのある立木を事前に伐採する市町村に費用の一部を補助するもの。

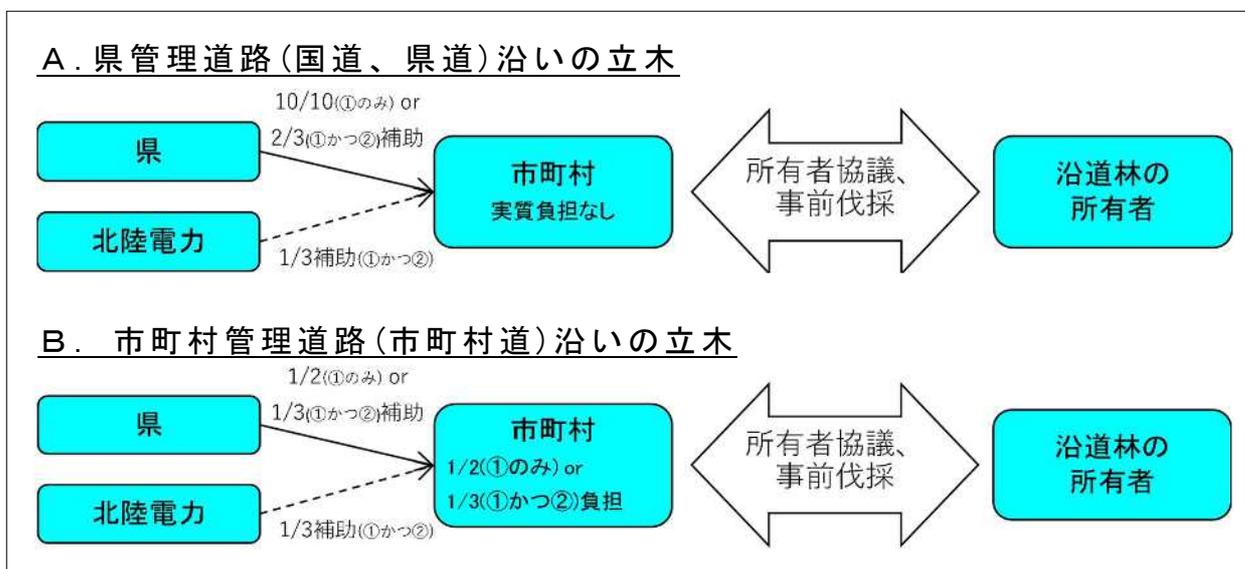
[事業概要]

1. R7 予算額 9,000 千円
2. 実施主体 市町村
3. 実施期間 令和7年度～
4. 対象経費 立木伐採費、調査費等
5. 伐採対象立木
  - ① 道路の通行止めを引き起こすおそれのある立木
  - ② 電線・電柱に支障を及ぼすおそれのある立木

※ 道路沿いの立木を無差別に切るのではなく、真に伐採が必要な立木を選定し実施する。また、沿道林とはみなせない（周辺の山林と一体的ではない）立木は対象外。【県、市町村、北陸電力で別途調整】

6. 補助率

補助率、費用負担率	A 県管理道路	B 市町村管理道路
電線あり(①かつ②)	県 2/3、北電 1/3	県 1/3、北電 1/3
県：市町村：北電	2：0：1	1：1：1
電線なし(①のみ)	県 10/10、北電なし	県 1/2、北電なし
県：市町村：北電	1：0：0	1：1：0



### 30. 観光ルートへの安全対策の促進

（富山県）

北陸自動車道立山インターチェンジから立山黒部アルペンルートへ通じる道路は、観光ルートの大動脈として利用されています。その中でも、多くの観光客が訪れる山間部の**称名滝ルート（藤橋～飛龍橋）**は、これまでも倒木・落石等により、頻繁に災害が発生しており、**通行障害**が生じることの無いよう安全対策を徹底するため、継続して事業促進を要望してきました。

立山土木事務所では国の交付金を活用し、令和5年度には**本格工事を実施**されたと伺っておりますが、称名滝を訪れる観光客や登山者等が**安全安心かつ安定的に通行**できるよう、今後とも**万全な落石・雪崩対策の予算確保**に格段のご配慮をお願いします。

（継続促進）

**令和4年の被害**

- 落石による遊歩道の通行止め（令和元年8月）
- 道路上への落石の状況（令和4年4月）
- 既往最大の落石（3.6m×2.4m）（令和4年5月）
- 雪崩による落石防止柵崩壊（令和4年3月）

**令和5年の被害**

- 落石の状況（令和元年8月）
- 落石防止ネット破損（令和3年7月）
- 落石による通行止め（令和5年4月）
- 片側通行（警備員配置）（令和5年4月）

富山立山公園線（土木部）  
弘法称名立山停車場線（土木部）

### 31. 立山駅周辺の環境整備・安全対策と予算確保

#### （1）県営駐車場内の樹木剪定や防除、伐採のための予算確保

（富山県）

立山駅前に立地する県管理駐車場については、現在、県と町において、令和8年度から町が管理を受託し、立山駅周辺の環境整備、活性化施策の財源として有料化を視野に協議を進めているところです。

しかし、県管理駐車場では、**令和4年にマイマイガが大量に発生し、観光客を不快にさせる事案があり、また、大きくなった樹枝が車に落下し損傷させる懸念**もあることから、樹木の管理が課題です。

今後の管理受託に向け、**駐車場内の樹木剪定や防除、伐採に関する費用の予算確保**をお願いします。

（新規要望）



## （2）富山上滝立山線のサル対策

（富山県）

立山駅から真川大橋を渡った富山市側の県道富山上滝立山線では、**多数のサルが頻繁に出没し、車の通行に支障**をきたしています。

さらに、町ではE-BIKE等の二次交通手段を活用し、立山山麓エリアを含めた立山駅周辺の活性化に取り組んでいることから、**出没したサルによる観光客への危害**も想定され、危険な状況となっています。

そのような中、町としてはサルの追い払いを目的に、地元の千寿ヶ原区長に空気銃を貸し出してはいますが、**出没数は増加傾向**にあります。

つきましては、県におかれては、ワンチームで対策を講じられるように、**富山市と立山町を指導**していただきますようお願いいたします。

（新規要望）



立山駅周辺の道路上に出没するサル



県道富山上滝立山線

## 32. 悪城の壁展望台の安全対策及び環境整備

（富山県）

「悪城の壁」は、高さ約500m、長さ約2kmに渡って連なる溶岩でできた巨大な壁であり、約10万年もの間、落差日本一の称名滝が、その溶岩台地を侵食してできたものです。この「悪城の壁」を見学するための展望台は、称名滝へ通じる主要地方道富山立山公園線沿線にあるため、毎年多くの観光客が立ち寄る場所となっています。

しかし、現在、この**展望台駐車場が落石により駐車場の一部が使用できなくなっている**ほか、**展望台の屋根や木製看板・ベンチの老朽化**により、安全性が確保できておらず、富山県を代表する観光施設とは言い難い状況です。

飛散等の恐れがある展望台の屋根材を取り除くなど、応急処置はしていただいておりますが、町としましては、立山黒部アルペンルートだけではない重要な観光資源として、「悪城の壁」の活用を推進しているところであり、**早急に落石対策、老朽化した施設・看板の改修や撤去等**の対策をお願いします。

（継続促進）



悪城の壁



落石



展望台



看板



ベンチ

### 33. 豚熱まん延防止対策事業（捕獲強化活動費）の継続

（富山県）

令和元年7月に富山県内で初めて野生イノシシ豚熱感染が確認されて以降、イノシシ捕獲処分時の防疫措置の徹底に加え、県とともに豚熱ワクチンの散布事業に取り組むとともに、野生イノシシ捕獲強化活動費の県単上乗せ支援（7,000円／頭）を受け、捕獲活動のさらなる強化に取り組んできました。

しかし、令和6年度は、立山町においても新たに2個体から豚熱感染個体が確認されたほか、県内においても野生イノシシにおける豚熱の感染確認が続いており、依然として豚熱の終息が見通せない状況にあることから、県下全域において捕獲強化を継続していく必要があります。

つきましては、**豚熱まん延防止対策事業（捕獲強化活動費）の上乗せ補助が継続的に行われるよう**に格段のご配慮をお願いします。

（継続促進）

#### 【イノシシ捕獲実績】

年度	捕獲頭数
令和6年度	164 頭
令和5年度	127 頭
令和4年度	199 頭
令和3年度	127 頭
令和2年度	138 頭
令和元年度	138 頭



イノシシの捕獲活動

## 34. 農業用水路安全対策事業の推進

（富山県）

近年の相次ぐ農業用水路の転落防止事故に対し、県では令和元年12月に、効果的な事故防止対策の方向性を示す「富山県農業用水路安全対策ガイドライン」を策定されました。

町においても、このガイドラインに沿って、国・県の支援のもと、転落事故を未然に防止する取組みを進めています。これまでに、各集落や土地改良区から要望のあった19箇所の危険箇所について**約4,285mの転落防止柵を整備**しました。しかしながら、地元等から転落防止柵の設置に関する要望が絶えず、令和7年度も約150mの追加整備に事業着手していますが、要望のあったすべての危険箇所について対策を講じることが困難です。

つきましては、**国の農村地域防災減災事業等**を活用し、**農業用水路の転落防止事故を未然に防ぐ**ため、事業を継続できるよう引き続き格段のご配慮をお願いします。

（継続促進）



# 安心❤️安全に暮らせる立山町へ

### 1 転落防止柵を設置

近年、富山県内において農業用水路への転落事故が多発しています。そのため、町においても、令和2年度より国の補助事業を活用し、転落防止柵（ガードパイプ）の設置に取り組んでいます。令和2～4年度の間に、町内17箇所、総延長3,780mの転落防止柵を設置しました。

農林課農地林務係  
☎ 076-462-9974

▲散歩も安心。榎の転落防止柵

**農業用排水路への転落事故を未然に防ぐ、転落防止柵  
広報立山（令和5年3月）**

### 35. 治山事業の促進及び新規施設の整備

（富山県）

治山事業は、山地に起因する災害から町民の生命・財産を保全する重要な政策です。

立山町の虫谷地内及び長倉地内において、大規模な地すべりが発生し、山村地域の生活に支障が生じているため、引き続き「地すべり災害復旧」を加速させるとともに、被害を未然に防ぐ「地すべり防止」について、以下の治山事業が促進されるよう格段のご配慮をお願いします。

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1. 公共・地すべり防止事業 | 虫谷 字二ツ竹 地内（R2～）   |
| 2. 公共・復旧治山事業   | 長倉 字尻谷 地内（R3～）    |
| 3. 公共・緊急総合治山事業 | 長倉 字滝坂 地内（R5～）    |
| 4. 県単・治山事業     | ① 虫谷 字大滝谷         |
|                | ② 芦峯寺 字雑穀【称名滝遊歩道】 |
|                | ③ 座主坊 字村巻ほか       |

（継続促進）

また、令和5年6月及び令和6年7月発生豪雨により、新たな山地災害が発生し、山くずれや土石流等が多発したことから、災害の起因を抑制する治山施設の設置に向け、併せて、各段のご配慮をお願いします。

（公共・県単）治山事業 横江 字小滝ほか

（新規要望）



虫谷 字二ツ竹地内（継続中）



長倉 字尻谷地内（継続中）

長倉 字滝坂地内（継続中）  
【新聞記事 令和5年5月】

## 立山で山腹崩壊

自岩川一部せき止め 林道寸断

18日午前9時、立山 日午後6時時点で被害は確認されていない。現場は白岩川の上流約1.5kmの地点で、林道が崩壊した。町によると、崩壊した地点は約1.5kmの上流の右岸斜面が幅約50m、高さ約20mの範囲で崩壊した。崩壊した際に土砂が落下し、林道が寸断され、川が溢れ、土砂が流入し、一部がせき止められた状態。町によると、林道が寸断しているという。

は林業関係者や山岳好き愛好者が主利用。今年4月8日には現場の約1.5km上流で確認された。町は林道が寸断した約10mを18日午後2時から通行止めとなつて、復旧の見通しは立っていない。白岩川を越える立山町入道峠をとり残された。土砂が川に流れ、左岸が完全に交わっていないが、町は確認している。町は下流域への影響は定量的に見方を示した。



山くずれの状況  
（横江 字小滝ほか）



富山地方鉄道立山線  
常願寺川  
土石流等（令和5年6月）

## 36. 森林研究所樹木園とグリーンパーク吉峰自然公園の 一体的な整備・連携

（富山県）

立山町吉峰地内にある、富山県農林水産総合技術センター森林研究所の樹木園及びグリーンパーク吉峰自然公園一帯は、町内外から訪れる多くの人々が様々な樹木や草花に親しみ、健康づくりや憩いの場として、散策等を楽しんでいます。しかし、**施設内に設置された案内板や遊歩道の標識が経年劣化による損傷が著しく、利用される方々に不都合が生じています。**

県におかれては、令和5年度及び令和6年度にアーバータワの改修や道標整備を実施されたところですが、町では中部北陸自然歩道整備事業を活用し、遊歩道内の整備対象（案内標識20基、案内板2基）のうち、令和7年度中に案内標識7基の改修に取り組むところです。

今後とも、利用者が楽しく安心して散策等が楽しめる環境形成のため、引き続き連携し、遊歩道標識や樹木表示、総合案内などの施設内表示の更新が進められるよう格段のご配慮をお願いします。

（継続促進）



### 37. 救急搬送における選定療養費の運用

（富山県）

緊急性の低い救急搬送が全国的に問題となっている中、立山町の救急出動件数は、昭和42年の32件から増加の一途をたどり、令和6年には1,302件になるなど、**救急医療現場のひっ迫が懸念**されています。

現状、富山県内の多くの病院では、救急搬送者は一律に緊急性が高いとみなし、選定療養費の請求対象外としていますが、他県では、**救急搬送されたものの入院に至らなかった患者に対しては選定療養費を徴収**する仕組みを試行的に導入し、**緊急性が低いと認められる救急出動件数が減少**するなど、成果を上げているところもあります。

町では、救急車を呼ぶかどうか判断に迷った場合に電話で相談できる「#7119」や子ども医療電話相談「#8000」の電話相談窓口の周知に努め、緊急性の低い救急要請を抑制する取組を実施していますが、救急需要は増加傾向にあります。

つきましては、先行県の事例を参考に、**緊急性が認められない救急搬送者に対して、県として統一した選定療養費を徴収する仕組みを構築**するよう要望します。

（新規要望）





救急車を呼ぶ？ 迷ったときは  
病院へ行く？

**5月7日(火)スタート**

**救急医療電話相談 ☎ #7119 へ**

急なケガや病気で、救急車を呼ぶべきか、病院に行くべきか判断に迷ったとき、経験豊富な看護師などの相談員から、医療機関への受診の必要性や対処方法などのアドバイスが受けられます。

⚠

▶ ☎ #7119 がご利用できない場合 ⇒ ☎ 076-444-4099

▶ 15歳未満のお子様は子ども医療電話相談 ⇒ ☎ #8000

▶ ☎ #8000 がご利用できない場合 ⇒ ☎ 076-444-1099

**相談時間**

平日 ▶ 19時～翌日午前9時

土曜日 ▶ 13時～翌日午前9時

休日 ▶ 24時間（日曜・祝日・年末年始など）

電話相談窓口「#7119」、「#8000」の利用推進（広報立山 令和6年5月）

## 38. 雄山高校の存続と魅力向上施策の推進

（富山県）

令和7年3月31日に「新時代とやまハイスクール構想」基本方針が富山県総合教育会議から発表され、令和7年度には、第1期校（令和10年度頃）の開設に必要な再編統合等を検討するための組織として「新時代とやまハイスクール構想検討会議」を設置、そのトップには新田知事自らが就任されて、早速、学校名を挙げた検討が進められようとしています。

雄山高校は、県東部エリアの19校に含まれ、学年定員が120名のため「新時代とやまハイスクール構想」では小規模校に該当します。

小規模校設置のねらいにもあるように雄山高校では、立山町との包括連携協定に基づき、雄山高校ならではの教育活動が展開されています。令和6年度には、総合的な探求の時間において立山町の観光・まちづくり・子育て・福祉等について調査・研究、発表を行い、その様子は町のYouTubeでも公開しています。また、県立山博物館や株式会社モンベル等から講師をお招きし、事前学習会を開催したうえで立山登山を実施したり、立山まつりでは町の事業者の出店に並んで雄山高校生が出店したりと、特色ある活動を続けています。

また、雄山高校は、富山市東部や上市町から自転車で通える距離にあり、悪天候時は富山地方鉄道の電車やバスがあります。通学時間に加えて通学費用の面からも生徒の選択肢となり得る高校と言えます。

こうした事実が、令和7年度普通科志願者数の増加に寄与していると考えています。

これらを踏まえ、富山県総合教育会議が打ち出した「**新時代とやまハイスクール**」の**小規模校として存続させ、選ばれる県立高校として魅力向上施策を展開**していただきますよう要望します。

（新規要望）

## 39. 学習指導員等の配置事業の見直し

（富山県）

文部科学省では、学習指導員等の配置に対する補助事業を実施しており、そのメニューには以下の2種類があります。

- ① 都道府県や政令市が実施する事業
- ② **市区町村が実施する事業に対して都道府県が補助する事業**

しかしながら、現在、**富山県では上記②の事業が実施されていません。**

各市町村教育委員会は、全ての子どもたちがその個性を最大限に生かし、誰一人取り残されることなく育成されるために、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる独自の施策に取り組んでいます。その取組の中においても、**市町村の課題に応じた学習指導員等の配置を通じて教育の質を高め、未来を担う子どもたちの成長を支援することは極めて重要**であると考えています。

つきましては、富山県においても、**市町村が実施する学習指導員等の配置に対して補助する事業を速やかに実施**されるよう要望します。

（新規要望）



担任教諭の補助を行う「スクールケア・サポーター」の配置（町独自・平成21年度～）

### 【参考】

令和7年度配置人数（学校数：小学校6校、中学校1校）

- ・スクールケア・サポーター 15名（小学校6校に13名、中学校1校に2名）
- ・町単講師 3名（小学校2校に2名、中学校1校に1名）

## 40. 信号機の予算確保

### （1）通学路の安全確保

（富山県）

通勤や通学の際に、道路を横断する児童・生徒や地域住民の安全を確保することは重要な課題です。

近年、歩行者の安全確保のため、町内交差点内の滞留スペースに安全柵を設置する等のハード対策が進められています。しかしながら、交通量が増加傾向にある当該地区において、歩行者が安全に道路を横断するにあたり最も有効な信号機の設置については、毎年、上市警察署を通じて上申しているところですが、実現には至っていません。

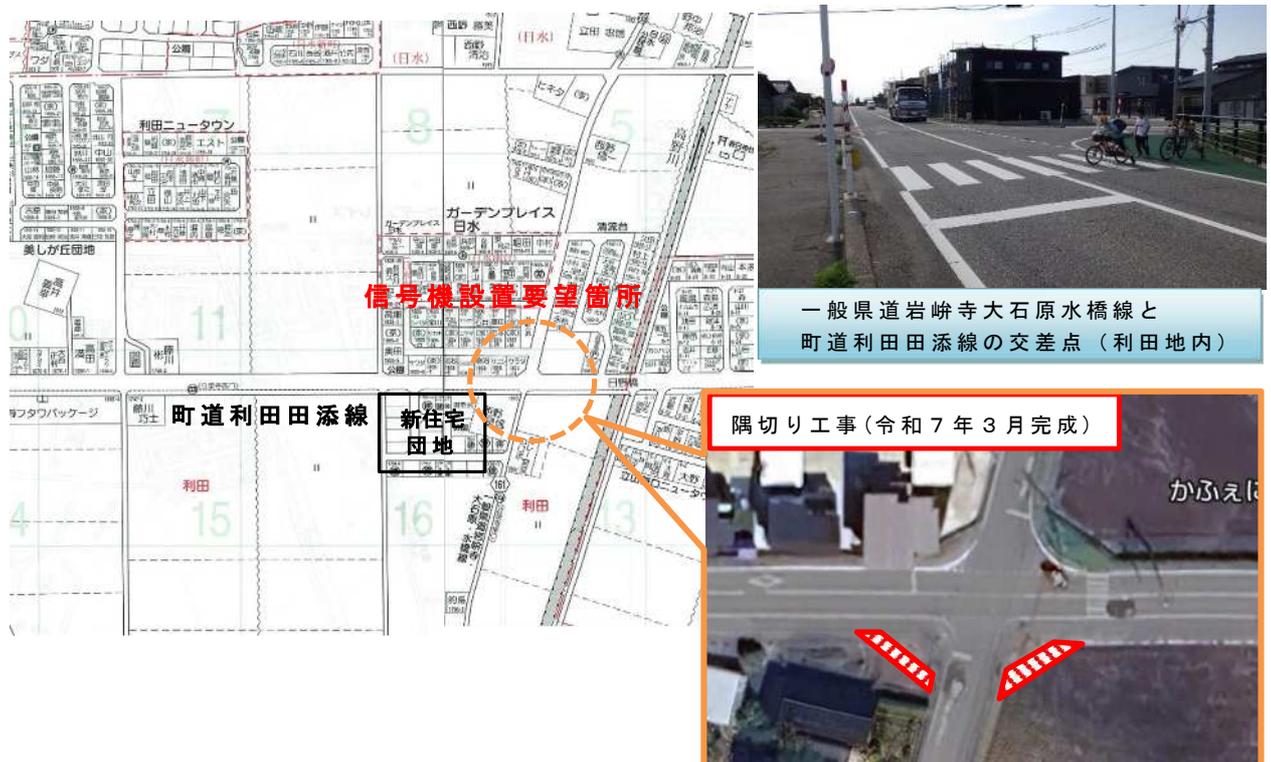
つきましては、「信号機設置の指針」に基づく適切な整備の推進と予算の確保について、格段のご配慮をお願いします。

（継続促進）

（主な箇所）

一般県道岩嶺寺大石原水橋線と町道利田田添線の交差点（利田地内）

【位置図】



## （2）企業団地の車両通行の円滑化

（富山県）

国道8号線と直結し、また、主要地方道富山立山公園線と交差する「主要地方道富山外郭環状線」は、近年、特に利田地内で企業立地（令和6年度：立山製薬工場株式会社第2工場、**令和8年度：株式会社カシイ本社及び工場が操業予定**）が進んでおり、物流を支える車両及び多くの従業員が利用しています。現時点において企業団地を構成する事業所の代表者からは、この企業団地の事実上の出入口である「町道曾我線」との交差点において、慢性的な渋滞解消と従業員の安全確保のため、信号機の設置を強く要望されています。

つきましては、一日も早く信号機を設置いただきますよう要望します。

（継続促進）

### （要望箇所）

#### 主要地方道富山外郭環状線と町道曾我線の交差点（利田地内）

